

2026/01/31

シニア 70・75 運営委員会

- 1、 目的 70歳以上のサッカー愛好者が集い、健康の維持・増進と仲間との協調と親睦を図り、生涯スポーツとして明るく、楽しくゲームに取り組むことを目的とする。
- 2、 名称 埼玉県O-70・75サッカーリーグ大会
- 3、 主催 (公益財団法人) 埼玉県サッカー協会／埼玉県シニアサッカー連盟
- 4、 主管 埼玉県シニアサッカー連盟／埼玉県O-70・75運営委員会 (以下運営委員会)
- 5、 期 日 3月から12月の平日開催を主体とする。(但し、土・日曜日(含む祝祭日)も可能とする。)
尚、O-65サッカーリーグ大会との合同開催も可能とする。
- 6、 会 場 埼玉県内のサッカーグラウンド (埼玉 SFA フットボールセンター他)
- 7、 参加資格 (1) 年度中 (4月1日以前生れ) に 70歳以上になる方、女子は 50歳以上
(2) 当該年度に日本サッカー協会に登録しかつ埼玉県シニアサッカー連盟 (以下連盟) に会員登録した方。
- 8、ユニホーム (1) 埼玉県O-70・75リーグのユニホーム着用の事。(上着・パンツ・ストッキング)
O-70 リーグ : ピンク・赤・ピンク 白・白・白
O-75 リーグ : ピンク・シルバー (金(O-80)・紫(O-85))・ピンク
白・シルバー (金(O-80)・紫(O-85))・白
(2) 連盟の【資料⑧-1】「2026年度ローカルルール一覧」(抜粋)を適用する。
その他は、日本サッカー協会競技規定による。
(冬季のインナー上・下はユニホームと同色で無くても可とする)
- 9、 競技規定 (1) 「O-70 リーグ」
資格: 翌年4月1日現在、満70歳から74歳までの方及びバックアップメンバー。
「バックアップメンバーとは、69歳を言う。」(75歳以上は削除)
当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。
但し ①スライディングタックルは禁止する。
②ショルダーチャージは禁止する。(「激しい」を削除)
③その他危険なプレーは禁止する。
(相手に怪我させない、自分も怪我しないをモットーとする)
尚、試合球は5号軽量380g (370~390g) を使用する。
「O-75 リーグ」
資格: 翌年4月1日現在、満75歳以上の方及びバックアップメンバー。
当該年度 (公財) 日本サッカー協会競技規定による。
但し ①スライディングタックルは禁止する。
②ショルダーチャージは禁止する。(「激しい」を削除)
③0-80以上(金・紫パンツ)への接触プレーは禁止する。
④その他危険なプレーは禁止する。
(相手に怪我させない、自分も怪我しないをモットーとする)
⑤試合球は5号軽量380g (370~390g) を使用する。
⑥その他 (監督業務等)
O-75 役員により取り決めた事項を遵守する事

<バックアップメンバーについて>

- ① O-75 チーム相互間で派遣補充し合う
 - ② 監督は参加者不足（ゴールキーパー含め）の場合、対戦チーム以外のチームに特定の担当者を通じて要請する。若しくは対戦チーム以外の監督に要請する。
 - ③ バックアップメンバーの出場時間は60分以内(1試合+20分)とする。但し、ゴールキーパーは1日80分も可とする。
- (2) 各試合の登録者は事前登録制(バックアップメンバーも含む)とする。
【資料⑧-2】提出用メンバー表による
交代して退いた選手が交代要員となって再び出場することができる。
- (3) 本大会で退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以後の処置については、フェアプレー・規律委員会で決定する。
- (4) 本大会中、警告を3回受けた者は、次の試合に出場できずそれ以後の処理については、フェアプレー・規律委員会で決定する。
- (5) シーズンが終了した時点での未消化の出場停止は、翌シーズンへ繰り越す。但し、警告累積による出場停止は翌シーズンに繰り越さない。

10、 競技方法

- (1) O-70リーグ FFC、ゼルコバ、PTK、Gファイターの4チーム
4回戦総当たりの24試合を行う。
参加者不足のチームは、他チームからの補充も可能とする。
(この場合はリーグ運営委員長（不在の場合は対戦相手の監督）の了承を得る。)
~~O-75メンバーは、試合参加時間を60分以内(1試合+20分)とする。(削除)~~
ゴールキーパーは1日80分も可とする。
- (2) O-75リーグ プリムラ、G.P.エンペラー、ペレウス、シルバースターの4チーム
4回戦総当たりの24試合を行う。
- (3) 勝ち点は「勝利チームに勝点3点」「引分けチームに勝点1」
「敗戦チームに勝点0」とする。
- ① 各チームの順位は、次のとおり決定する。
・ 総勝点 ・ 得失点 ・ 総得点 ・ 当該チーム同士の対戦成績
 - ② 試合時間 (原則として)アディショナルタイムは設けない
・ 各リーグ戦は40分(20ハーフ)とし、ハーフタイムは原則5分とする。
 - ③ 下記の場合は不戦敗扱いとし「0対5」とする。
・ 未登録選手が出場した場合。
・ フェアプレー・規律委員会で決定された場合。
 - ④ メンバー表提出・試合開始30分前に大会本部へ提出する事。

11、 審判 (1) 運営委員会で定めた日程表により行う。(日本サッカー協会有資格者…原則として)

(2) 注意事項

- ① 主審は本部から審判カードを受領する。
- ② 審判服を着用する。~~(第4審は黒を基調とした服装でも可とする。)~~ (文章削除)
- ③ 試合開始20分前に審判・監督ミーティングを行う。
- ④ 試合開始10分前に選手(交代要員含む全員)の用具等を確認する。
- ⑤ 試合開始時間を厳守。

⑥ 試合前・後の審判団打ち合わせを実施する。

⑦ 試合結果を本部に報告する。

1 2、マッチコミッショナー

(1) マッチコミッショナーは、原則としてその試合の審判チーム以外のチームが担当する。

(審判チームに支障(着任の遅れ等)が出た場合及びO-75の試合は、当番チームが担当する。)

(2) マッチコミッショナーは【資料⑧-3】「マッチコミッショナー任務・チェック項目(競技場)」によりマッチ・コーディネーション・ミーティングを主審と共に実施する。

(3) 「マッチコミッショナーの任務とチェック項目(競技用)」を確認して試合に臨み、試合終了後

速やかに【資料⑧-4】マッチコミッショナー報告書を作成する。

(報告書は主審と共同作成する。)

(4) マッチコミッショナーは警告、退場者が出た場合は、「警告、退場者累積記録」に記入しリーグ委員長に報告。

リーグ委員長は試合翌々日までに「退場・警告累積記録」を埼玉シニアサッカー連盟フェアプレー・規律委員会及び委員長に提出する。

1 3、当番チームの役割

(1) 日程表により、当番日において次の項目について円滑かつ誠実に行うと共に

① メンバー表と緊急連絡先ファイルを試合開始30分前までに受け付ける。

② マッチコシナー報告書・選手登録・審判記録カード・リーグ戦結果を取りまとめ運営委員長に提出する。

③ 当番チームは次節当番チームに必要な機材をリーグ戦用具一式リストで引き渡しをする。
・テント(3)・折畳みテーブル・折畳みイス(2)・救急バッグ(2)
・AED・WBGT計測器・ボールバッグ(2)・クーラーボックス
・試合運営用バイインダー収納袋・事務用品バッグ(記録用紙等必要書類)他

④ 当番チームは当日までに水2リットル2本を用意し当日持参する。(氷を削除)
(けが対応用の「氷の準備」に変わり本部で「叩けば冷える瞬間冷却材」を用意する。)

(インボイス制度対応の水の領収書を会計担当に提出する事。)

*担当理事・リーグ委員長はリーグ戦に必要な書類(選手登録書、ゲーム審判員記録用紙etc)を準備し、当番チームに説明して引き渡す。

(2) 雨天等による試合中止は、担当理事・リーグ委員長と協議し決定する。

中止決定後各チームに速やかに連絡をする事。

(3) グランドの設営と後片付けをする。

《設営》 ① グランドのライン引き、コーナーフラッグ --- 「当番チーム」

② ネット張り/ゴールポスト --- 「第1試合目2チーム」

《後片付け》 ① 周辺の清掃(煙草吸殻処理等) --- 「当番チーム」

② ネット/ゴールポスト、フラッグの片付け --- 「最終試合の2チーム」

1 4、試合運営

(1) 雷の予兆があった場合は、速やかに活動を中断し、危険性がなくなると判断されるまで安全な場所に避難する。

その後、危険性がある場合は担当運営理事・リーグ運営委員長が協議し判断をする。

活動の中止を判断した場合は下記とする。

担当運営理事・リーグ運営委員長は当番チーム責任者・審判へ速やかに中止を伝える事。

- ① 試合の開始前…予備日にて再試合とする。
- ② 試合途中 …前半終了している時は、その時点でのスコアで勝敗を決定する。同点の場合は引き分けとする。
但し、前半終了していない場合は、後日再試合とする。
- (2) 雷以外（荒天など）での試合中断の場合は、中断時間20分間以内の回復がなければ雷による中止と同じ要領で対応する。
- (3) メガネの使用はプラスチックあるいは類似の素材でできたスポーツメガネ以外は使用を禁止する。
- (4) 試合中に於けるネックウォーマーの使用禁止（危険防止のため）
- (5) 救急用品は各チームで用意してリーグ戦時に持参する事。
(マッチコミッショナーはマッチ・コーディネーション・ミーティングで確認の事。)
- (6) 連盟の【資料⑧-1】「2026年度ローカルルール一覧」（抜粋）を適用する。

15、熱中症対策（シニア連盟熱中症対策をする事、内容は下記の通り）

- (1) 【資料⑧-4-1】熱中症対策期間における WBGT 値計測表により
マッチコミッショナーが計測し対応する事。
- (2) 両チームベンチ、本部席へのテントの設置。
- (3) 緊急対応用として氷及び経口補水液（OS-1）等を準備する。
- (4) 飲水タイムの実施（飲水タイムの判断は審判委員長・リーグ運営委員長が決定する。)
- (5) 連盟の【資料⑧-1】「2023年度ローカルルール一覧」（抜粋）を適用する。

16、表彰

- (1) フェアプレー賞「O-70・75リーグ各カテゴリー」
基準は警告1ポイント、退場3ポイント（1試合に2回の警告による退場は除く）
全試合のポイント率（ポイント数÷総試合数）同点の場合、リーグ戦上位チームを1位とする。
- (2) シニア連盟奨励賞「O-70・75リーグ各カテゴリー1位チーム」

17、緊急連絡

(文章を変更)
参加資格者はゲーム等での重大事故、怪我の発生時に備え、
【資料⑧-5】「2026年度緊急連絡先と埼玉県シニアサッカー主催活動に対する同意書」
を参加資格者各自が作成し、チーム監督へ2部提出する。
チーム監督と監督代行者は、責任を持って2部のそれぞれを管理・保管する。
チーム監督と監督代行者は、リーグ戦当日必ず会場に持参し、メンバー表と一緒に
当番チーム又は当該戦マッチコミッショナーへ提出する。

18、その他

- (1) 本リーグ戦（交流試合も含む）に参加する者は頭書の目的に則り、良識のある社会人として行動するものとする。
万一、不適切な行為が有った場合は各チームの代表者、監督を通じ注意を促す。
- (2) 本大会要項に規定されていない事項については、運営委員会において協議・決定する。

O-65統合により改定 2020年2月22日
 見直し及びO-75チーム数増加により改定 2022年2月23日
 一部見直し改定 2023年2月26日
 一部見直し改定 2024年2月24日
O-65分割により改定 2026年1月31日